

欧州最新建築

武藤聖一のスナップ紀行

撮り歩記

武藤聖一 写真・文

日経アーキテクチュア編



42 別荘気分を味わえる湖畔の戸建てへ

スウェーデン | オステルビーモ

建物名 ● Villa Nicklas
設計者 ● Anders Landström
所在地 ● Österbymo, Sweden

スウェーデン・ストックホルムから車で南のスモーランド地方へ。高速道路と地方道から外れて、農道を進むと、ガーデンデザイナーのルース・ニクラスさんが出迎えてくれた。ニクラスさん夫妻の自宅だ。

3年前にここが売りに出されたと聞き、土地を購入したという。木造建築で著名なスウェーデンのアンダース・ランドストロム氏に設計を依頼。2年がかりでやっと仕事場を兼ねた自邸が実現した。

延べ169m²の母屋、78m²のゲストハウスのほか、湖畔に15m²のサウナ小屋が建つ。3棟は軸線を平行にして並んでおり、庭には温室もある。建物はブラウンがかった黒でシックに塗られている。

母屋の玄関を入ると左側にバスルームと主寝室、右側にはキッチンやダイニング、暖炉、リビングが細長く配列されている。建築面積の約半分が2階建てになっており、夫妻のオフィスなどに使用されている。

内部空間は木で囲まれ、梁には2本のスチールロッドとワイヤが張られ、左右の壁面をバランスよくつないでいる。広くのびのびした天井空間を遮らないこのシンプルな構造は建築家の初めての試みだという。リビングルームの両角もユニークなデザインに仕上げている。柱を建てずに窓ガラスにしているため、一味違った角度からの景色が楽しめる。

夏の間はリゾート気分で訪れる客が絶えない。一方、常夜に近い真冬の何も見えない闇の中、サウナの窓から望む景色はニクラスさんの一番のお気に入りだ。数km先の対岸にある教会の明かりが一点ともる。



上：母屋。壁面はブラウン
下：リビングルーム



上：湖に面した緩やかな斜面に建つ木造のニクラス邸。中央が母屋で左がゲストハウス
下：母屋（右）から離れてサウナ小屋が湖畔に建つ

ストックホルムから
ノド地方へ。高
く建て、農道を
デザイナーのルー
を迎えてくれた。
自宅だ。
川に出されたと
たという。木造
アーデンのアン
コム氏に設計を
やと仕事場を
た。
計、78m²のゲス
湖畔に15m²のサ
棟は軸線を平行
庭には温室もあ
ンがあった黒で
る。

ると左側にバス
側にはキッチン
ミ、リビングが細
。建築面積の約
っており、夫妻
用されている。
囲まれ、梁には2
ミとワイヤが張ら
バランスよくつな
ぎのびした天井空
シンプルな構造は
試みだという。リ
角もユニークなデ
ている。柱を建て
ているため、一味
景色が楽しめる。
ト気分で訪れる客
、常夜に近い真冬
の中、サウナの窓
クラスさんの一番
数km先の対岸に
が一点ともる。



上：母屋。壁面はブラウン調の黒い塗料で仕上げ、窓枠などの白色と優しいコントラストを生んでいる。リビングルームの両角をガラス張りにした
下：リビングルームから見る。妻面の真ん中に大きな書棚を配置し、その両わきのコーナーをガラス張りとしている





上：玄関を入った場所から右手方向を見る。手前からキッチン、ダイニング、暖炉、リビングが細長く配列されている
 下：ダイニングわきの湖に面したコーナー。インダストリアルムの余韻を感じさせるメタルフレームとガラスで構成した窓



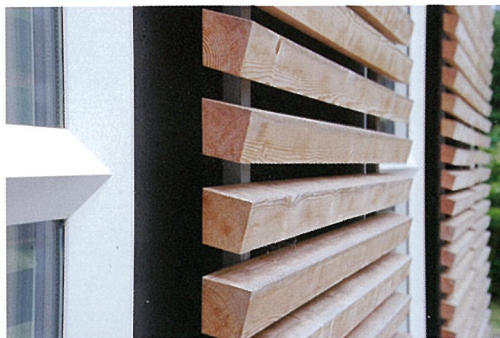
湖畔に建つ15m²の広さを採



左上：よるい戸のラ
 げる。といを持ち出



湖畔に建つ15m²の広さを持つサウナ小屋。大きなガラス窓には、湖と対岸の風景がパノラマのように広がる



左上：よるい戸のディテール。台形断面の角材を並べている 左下：シンプルなスチールサッシのディテール 右上：軒先部分のといを見上げる。といを持ち出して雨水を直接落とす 右下：といから落ちる雨水を受ける円形の浸透マス